

高体連空知支部 バスケットボール

男子全道出場権獲得

男女共に

準優勝



担当
山下紗穂(3D)
森田志音(3F)



男子・芦高戦でシュートを打つ松田さん

5月22～24日に砂川市総合体育館で第18回空知高等学校バスケットボール競技大会が行われた。滝西は男女共にシード校として出場したため、試合は23日と24日に行われた。23日に男子の初戦が行われ、岩見沢東高校と戦った。前半の第1クォーターは28-8、第2クォーターは25-16と序盤から点差をつけていき、リードを広げた。後半は第3クォーターと第4クォーターで接戦になったものの、最後まで滝西が逆転を許さない見事な戦いを見せ、最終的に92-69で滝西の勝利となった。

続く決勝リーグ一試合目の芦別高校との戦いでは、前半から一進一退の攻防が続き、両チームともにリードを許さない緊張感のある展開となっていた。しかし、後半に入ると滝西が徐々に調子を上げ、粘り強い守備と素早いパス回しが試合の流れを掴み、少しずつ点差を広げていった。選手たちが最後まで集中を切らすことなく自分たちのプレースタイルを貫いた結果、93-64で勝利した。

岩東戦でトップの得点をとった志筑梨空さん(3B)は「今までの練習で生意気な後輩をまとめ、チーム一丸となって頑張ってきたことでみんなが全力を出して戦ってよかった。2試合とも勝って嬉しかった。」と話した。また、芦高戦で33得点を獲得した得点王の松田悠さん(2A)は「岩東戦では足も動かず調子が悪かったが、芦高戦では33点も取れて嬉しかった。」と話してくれた。



男子・芦高戦でシュートを打つ志筑さん



女子・岩東戦でシュートを決める松倉さん

男子は翌日、滝高にも83-62で勝利。決勝では惜しくも55-64で岩見沢緑陵に負けたが、準優勝となり全道大会へ進む。

女子は23日に岩見沢東高校との試合が行われた。第1クォーターから圧倒的な点差を広げ、試合開始直後から流れは滝西にあった。攻撃ではテンポの良いパス回しや成功率の高い安定したシュートから得点を重ねた。守備では、素早い戻りと粘り強いプレーで失点を最小限に抑えた。第2クォーター以降も勢いは衰えることなく、選手全員が集中を切らずにプレーを続けたことで、点差はさらに開いていった。後半に入ってもチームの勢いは止まらず、攻撃・守備にわたって相手を圧倒し続け、最後までペースを握ったまま試合を進めた。結果は113-64と大差での勝利となった。キャプテンの松倉菜々子さん(3D)

は今回の試合で「速攻が多く出せていたと思うが、オフエンスは空いている選手が声を出していなかったりしていたので、明日の決勝は、みんなで声を出して優勝したい。今日の試合ではスタートが悪く、相手のペースに合わせちゃってしまっていたので、明日はアップから試合を意識してスタートから自分たちのプレーをしていきたい。」と話してくれた。女子は翌日、決勝で岩見沢緑陵に51-54で負け、準優勝となったが全道進出は一枠のため惜しくも逃す結果となった。



女子・岩東戦でシュートを打つ近藤美結さん(2C)